

CAMPUS NEWS

vol.116



撮影：真田神社

CONTENTS

SPECIAL FEATURE 特集

新入生インタビュー / 地域を学びのフィールドにしたゼミナール紹介

REGULAR CONTENTS

地域 × 研究 | 長野大学 研究紹介



新入生に聞きました



NEW STUDENTS INTERVIEW

長野大学にはたくさんの夢と目標をもった学生が全国から集まっています。新たに長野大学の一員となった新入生に、入学して感じていることやこれからの抱負を聞きました。



北海道

外国人との交流をきっかけに自身の気持ちを表現することの大切さを学びました。現在は近隣の大学生と、みんながやりたいことをやりたいと言えるコミュニティ「Earth Village」づくりに取り組んでいます。

小野 憂奈さん
企業情報学部
私立遠愛女子高等学校出身



福島県

実家で曾祖母と一緒に住み、高校生の時に老人ホームでボランティアをした経験から福祉に興味を持ちました。長寿県として知られる長野県にどんな秘訣があるのか、「高齢者」をテーマに研究したいです。

佐藤 咲希さん
社会福祉学部
福島県立橋高等学校出身



岐阜県

外国人観光客に日本の田舎の魅力を伝えたいという想いがあり、地域活性化や観光について幅広く学べる長野大学を選びました。英語は話せるので、在学中は中国語、韓国語も勉強して将来につなげたいです。

山内 梨帆さん
環境ツーリズム学部
岐阜県立中津高等学校出身



愛知県

小学生のころから自然や地域活性化に問題意識や関心があり、自然学校で働きたいという夢を抱いていました。大学ではさまざまな資格にも挑戦し、理論と体験の両方の角度から深く学びたいです。

大内 梓さん
環境ツーリズム学部
愛知県立豊田高等学校出身



新潟県

保育士である母から仕事の話聞くうちに、児童福祉や地域福祉について関心を持つようになりました。現在はボランティアサークルに所属し、子ども食堂や通学合宿など地域に出て学んでいます。

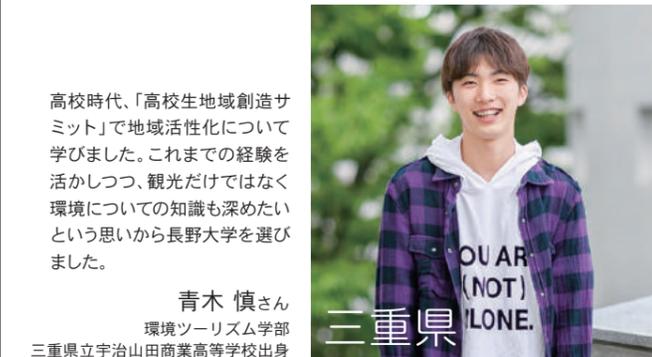
長部 絢音さん
社会福祉学部
新潟県立長岡大学高等学校出身



群馬県

高校時代にプログラミングを学び、大学ではより発展させ、専門的な知識や技術を学びたく進学しました。長野大学は地域との連携が特徴で、さまざまな方と直接関わり合いながら学べるのが魅力です。

神立 一樹さん
企業情報学部
群馬県立前橋商業高等学校出身



三重県

高校時代、「高校生地域創造サミット」で地域活性化について学びました。これまでの経験を活かしつつ、観光だけではなく環境についての知識も深めたいという思いから長野大学を選びました。

青木 慎さん
環境ツーリズム学部
三重県立宇治山田商業高等学校出身



京都府

長野大学では、社会福祉士や保育士などのさまざまな資格取得をめざすことができるのが魅力です。4年間の学びの中で自身の資質を磨き、将来は児童養護施設で働きたいと考えています。

松本 歩さん
社会福祉学部
京都府立亀岡高等学校出身



富山県

経営・情報・デザインと幅広く学べ、課題を目標にしながら活動体験ができる「プロジェクト型学習」に魅力を感じました。将来は人の想いに寄り添える仕事に就けるよう、さまざまなことにチャレンジし、知見を広げたいです。

平澤 実桜さん
企業情報学部
富山県立滑川高等学校出身



長野県

地元企業の方々との交流や地域連携が盛んな長野大学の魅力を活かして、経営者側の想いやさまざまな課題などを学んで行きたいです。将来は地元に貢献できるような公務員をめざしたいです。

井出 大貴さん
企業情報学部
長野県立上田高等学校出身



香川県

オープンキャンパスで感じた、先輩方の明るい雰囲気や模擬授業の面白さから進学を決意しました。心理学の勉強やボランティア活動などの経験を通じて、一人ひとりとしっかり向き合えるカウンセラーになりたいです。

金本 京子さん
社会福祉学部
香川県立坂出高等学校出身



長崎県

高校時代、河川の生態調査に参加しました。失われていく自然を目の当たりにしたことで、環境について深く学びたいと思うようになり、山も川も近くにあり自然豊かなフィールドが広がる長野大学を選びました。

下條 仁嗣さん
環境ツーリズム学部
長崎県立佐世保西高等学校出身



山梨県

長野大学は社会福祉学部の中で心理学も学べることから、進学を決めました。現在は地域の中学校の特別支援学級で学習支援ボランティアに参加しています。実際の教育現場での体験を通して手応えを感じています。

齊藤 雅哉さん
社会福祉学部
山梨県立北杜高等学校出身



静岡県

高校時代、ホテルのコンシェルジュや経営について関心がありました。当時の担任の先生から長野大学の経営ゼミで経営学やマーケティングについて学べると教えてもらったのが入学の決め手です。

佐塚 拓磨さん
企業情報学部
静岡市立高等学校出身



沖縄県

これからの観光は、環境問題との調和が不可欠だと感じました。地元とは異なる地で観光と環境が学べ、豊かな自然環境を活かした長野県の観光も知りたいの思いから、長野大学に進学しました。

高安 乃唯さん
環境ツーリズム学部
沖縄県立首里高等学校出身





地域を学びのフィールドにしたゼミナール紹介

3つの教育の柱で、
地域社会から必要とされる人材を育成する

長野大学の教育の特徴の一つに、「地域協働型教育」があります。これは、地元住民や企業などと協働しながら、自分事として地域の課題に向き合うもので、学生たちはこうした経験により、地域から求められる人材へと育っていきます。

考える力と想像する力で立ち向かう足腰の強い人材を育成するためにも、3つの教育の柱である教養教育や専門教育を学びながら学生たちは地域に出ていくための準備をしています。

具体的にどのような「地域協働型教育」を実施しているのか、学部ごとの専門ゼミナールの特徴的な活動を紹介します。



01 教養教育

さまざまな価値観や文化など、幅広い知識を身につけるとともに、論理的で批判的な思考と豊かな感性を養成します。



02 専門教育

地域社会での役割を想定しながら、職業人として必要な能力・姿勢を養成し、企業や組織のなかでリーダーシップを発揮できる高い専門性と問題解決能力を持った人材を育成します。



03 地域協働型教育

自らが生きる地域を舞台に、地元住民や企業・組織と協働しながら、地域課題に向き合い、考える力や想像する力、共感する力を養成します。

企業情報学部

地元愛を活かして 地域の課題に地元住民と取り組む

企業情報学部 4年 小宮山 隼人 さん
(長野県蓼科高等学校出身)

■ どのような研究をしていますか

上田市西部・塩尻地域の「西部地域まちづくりの会 自然・生活環境部会」の方たちと、地域の産業遺産、神社仏閣、文化財、文書などをまとめた歴史遺産マップを制作して地域資源のデジタルアーカイブ化を進めています。私自身も出身の立科町の魅力を発信するために「立科マップ」を制作したり、プログラミングの勉強もしていたので、その経験が活かせるのではないかと考えました。

■ 地域をフィールドに今後どのような活動をしていきますか

実際に地域の方々ともち歩きを行い、一緒に活動をしているため、同じスポットでもさまざまな見方の意見が飛び交い、地域の方からも活気が出たと喜んでいただきました。この活動を通して、今後も地域資源の情報収集と記事化を進め、地元愛をもち地域の課題解決が担える人材に私自身がなりたいと思います。さらにこの活動が、大学と地域が連携して地域のデジタルアーカイブをつくる活動のモデルケースにできればと考えています。



学部・ゼミの紹介（企業情報学部 前川道博ゼミナール）

学部には経営・情報・デザインのコースがあります。日本社会ではこれから少子高齢化、ICT（情報通信技術）の高度化が進みます。ICTを活かし、地域の知識・資源を次世代に継承できる「デジタルcommons」（知識の共有地）がこれからの地域づくりに欠かせなくなります。前川道博ゼミでは、地域社会や行政・企業の課題を解決するメディア環境のデザインを実践的に学びます。学生が主体となって解決策を提案し、興味あるテーマを探求できます。

社会福祉学部

ひきこもりとは何か 模索しつづけた4年間

社会福祉学部 4年 小川 夏帆 さん
(長野県上田千曲高等学校出身)

■ どのような研究をしていますか

高校時代に「ひきこもり」という言葉を知り、ひきこもりとは何かを知り、ご本人や家族に寄り添うためにはどのような支援が必要なのかを学びたいと思いました。

1・2年次は、概念はもちろんのこと障害者のキャリア支援や子ども教育について学び、3年次には、「居場所」をテーマにした論文を30本ほど読みました。

■ 地域をフィールドに今後どのような活動をしていきますか

現在は、「ひきこもり」要因のひとつに焦点をあて、「障害者の困り感と対処プロセス」をテーマに研究をしています。

地域の障害者施設などに出向いてのインタビューや、上田市にある幼稚園でのボランティア活動を通して、子どもたちは何に困り、先生方はどのように関わっているのかなどを実際の現場から学んでいます。今年9月に開かれる日本特殊教育学会のシンポジウムでは、4年間取り組んできた研究成果について発表を行う予定です。



学部・ゼミの紹介（社会福祉学部 丹野傑史ゼミナール）

学部には社会福祉・福祉心理・教育福祉の3つのコースがあり、実習や学外プログラムなどの体験型学習を重視し、それぞれの進路に必要な知識や資格取得に向けて学んでいきます。丹野傑史ゼミでは、授業と現場、両方の学びを実施しているからこそ、多様化している生活上のニーズに目を向けることができます。ゼミを通して受け身の学びではなく、さまざまなことに挑戦することの楽しさにも気づくことができました。



環境ツーリズム学部

新しい切り口で伝える ため池の観光スタイル

環境ツーリズム学部 3年 波照間 大輝 さん
(沖縄県立八重山高等学校出身)

■ どのような研究をしていますか

「ため池観光の可能性や景観の魅力をアートという観点で探る」というテーマで活動しています。上田市は晴天率が高く年間降水量が少ない地域で、農業用水を確保するために「ため池」が作られてきました。なかでも長野大学がある塩田平ため池群は、長野県の美しい山々が印象的に眺められ、水面には山々が写り込むなど絵画的景観を楽しむことができます。これらを上田市の観光スポットにしたいという想いから始めました。

■ 地域をフィールドに今後どのような活動をしていきますか

2年次の「観光まちづくり計画論」という授業で学んだことを活かし、ため池の堤の芝生広場で「沖縄×ため池 ゆんたくライブ」を企画立案しました。私自身が沖縄県出身ということもあり、沖縄音楽の組み合わせによって地域の方々ともため池との距離が縮まればと思いました。今年は、PRに力を入れ、昨年の集客数150人超えをめざし、さらに観光スポットとして注目されるようがんばりたいです。



学部・ゼミの紹介（環境ツーリズム学部 熊谷圭介ゼミナール）

学部では環境・観光・地域ビジネスの3つのコースがあり、地域社会の課題を見つけ、解決する力を身につけます。熊谷圭介ゼミでは、景観まちづくりや交通まちづくりなどの先進的な取り組みを学ぶとともに、地域課題を分析し、住民組織と連携しながら観光まちづくりを実践学習します。ゼミでの学びには、深く探究するおもしろさがあり、新たな地域の魅力に出会えたときの喜びは達成感にもつながります。

地域 × 研究

長野大学では、「地域社会との密接な結びつきにより学問理論の生活
長野大学の教員は、この理念のもと地域社会の日々の暮らしを支える

化をめざす」という建学の理念を掲げています。
研究を行っています。



社会福祉の立場から人々を支援
できるソーシャルワークを学ぶ

社会福祉学部 鈴木 由美子 准教授 【担当講義】相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、保健医療サービス 他

必要とされるソーシャルワークとは何か

現在は3つの研究を行なっています。1つ目は、医療ソーシャルワーカーとして病院に勤務していた経験を活かした「保健医療におけるソーシャルワーク」です。病気に誰にでもあるリスクですが、傷病者本人だけではなく家族も心理的、社会的、経済的にさまざまな問題が生じます。より良い療養生活や社会復帰に向けて、どのような支援が本当に必要なのか研究しています。

2つ目は、「質の高い専門職養成に対する社会福祉教育のあり方に関する研究」です。病院、高齢者施設、障害者就労施設などと連携しながら、大学で学生をどのように指導していくか共同研究しています。

そして3つ目は、「ライフヒストリー研究」です。難病の患者さんを中心に、病気が人生にどのような影響を及ぼしたか聞き取り調査を進めていきます。実際に必要な支援とは何か理解を深めたり、難病を知るきっかけにもなります。人生全体や生活を理解するうえで研究する意義があるのではないかと考えます。

複雑化する福祉のニーズを伝える

社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格取得に向けたシラバスをベースに授業を行なっています。その中で大切にしているのは、机上の空論にならず、リアリティを持って学んでもらうことです。近年は身寄りがない単身者や外国人が増えており、福祉に対するニーズはますます複雑化しています。そのために授業では、現場の方たちに現状や取り組み

について話してもらったり、関連するニュース映像を利用したり、自分自身の経験を伝えながら現場感覚がつかめるような学びを心がけています。

私が学生みなさんに大切にしてほしいと思っていることは、自分とは異なる相手を理解しようと歩み寄る姿勢です。学生時代は、人生経験も少なく自信がないものですが、「話を聞かせてほしい」という熱意は相手に伝わり、人を救うことがあります。大学で多くの経験を重ね、専門職として羽ばたいていけるようサポートをしていきます。

誰かの人生に一步深く踏み込む

ソーシャルワーカーの仕事は一生かけて取り組む意義がある、素晴らしい仕事です。人は誰も選択をしながら生きています。傷病者やその家族たちが泣いたり、悩みながらも再び人生を歩み出す時間に立ち会えることに毎回感動し、やりがいを感じています。

鈴木由美子准教授からのメッセージ

患者さんやその家族は多くの生活課題を抱えています。医療ソーシャルワーカーは、社会福祉の立場から生活課題を捉えて支援していく仕事です。当事者の側に立ち、周囲の人に働きかけ、その人の望みや意見が実現できるよう調和を図ります。人と人がつながることで、あらゆる問題を乗り越えようとする力が生まれます。

長野大学で、ともにソーシャルワークについて学びましょう。



学びを通して、自治体の
政策プロセスに関わる力を養う

環境ツーリズム学部 久保木 匡介 教授 【担当講義】地方自治論、政治学概論、まちづくりの政治学 他

住民の声を公共サービスに活かす

私の研究テーマは、行政学における行政統制論です。行政学は一言でいえば、行政を含む公共サービスのより良いマネジメントのあり方を考える学問です。私たちは、さまざまな組織から提供されるサービスを受けながら生活しています。公共サービスにおいて重要なのは、利益を生むことよりも利用者や地域社会を支え貢献することです。そのためには、組織やサービスの運営に、利用者や地域住民の多様な声を反映しサービスを改善していく仕組みが必要となります。これが、住民本位の行政統制の根本にある考え方です。

イギリスの教育改革から考える 公共サービスのあり方

行政統制の仕組みは、議会や裁判所による外部統制と監査や自己評価を用いた内部統制に分けて論じられてきました。しかし、近年公共部門にも競争原理と外部機関による事後評価を導入し、市場メカニズムによる統制を行う動きが強まっています。私は、このような変化をイギリスの教育サービスを対象に研究しています。イングランドでは、1980年代から学校選択や学力テストによる学校間競争を強め、教育水準局という評価機関による学校の格付けを通じて競争的な評価を行ってきました。その結果、業績の上げられない学校の廃校や民営化が進行し、地域に根づいた教育サービスが失われる事例も生じています。他方で、スコットランドではそのような競争原理や外部評価を採

用せず、学校や教員の専門性と自治体の支援に基づく学校改善を進めています。イギリスという一つの国の中で生まれた好対照な事例は、日本の公共サービスの統制を考えるうえでも必要な視点です。

持続可能な地域づくりのために

ゼミでは、持続可能な地域づくりを進めるため、住民の声を自治体政策にどう反映させるべきかを、環境政策を中心に議論しています。日本では、地方創生の名のもとに、政府が定めた枠組みに基づいて人口減少への対応や地域活性化が行われています。しかし、持続可能な地域づくりの条件は地域によって多様です。必要なことは、地域の将来を地域住民自身が議論して決めることであり、そのための仕組みを政策ごとに再構築していくことです。学生たちは、そのことを具体的な政策過程に即して考え、地域活性化のあり方について学んでいきます。

久保木匡介教授からのメッセージ

最近のゼミでは、水資源の管理や景観まちづくり・公害被害からの地域再生に取り組んでいる自治体に注目しています。独自の政策を作る力のある自治体は、どのような方法で住民のエネルギーを政策形成に結びつけているのか、具体的な事例を学ぶ中で考えることが大切です。学生も地域住民の1人です。大学での学びを通して、自治体の政策プロセスに関わる力を養いましょう。

上田の名所と長大生

真田神社は、上田城東虎口門に入つてすぐの場所にあり、戦国武将として人気の高い真田昌幸・真田幸村を祀っています。戦国時代、上田城は真田軍が二度にわたり徳川の大軍に勝利したことから、「落ちない城」として知られ、学業成就や勝負運のご利益があると言われています。



— 表紙の長大生 —

田崎 光貴さん 企業情報学部 4年
(長野県上田東高等学校出身)

上田市出身の田崎さんは、観光客や地元の方が安心して過ごせるまちづくりをめざし、QRコードを活用した避難ルートが分かる仕組みづくりの研究を行っています。また、地元愛も強く、3年次に地元上田商工会議所でインターンシップを行い、学生の視点を活かした企業ガイドブックの制作にも関わりました。

佐藤 彩莉菜さん 環境ツーリズム学部 4年
(新潟県立新発田高等学校出身)

佐藤さんは、長野県の東信地域の魅力を発信すべく、各地の特産品を道の駅で販売するイベントを行っています。また、1年次からオープンキャンパスのスタッフとして、大学の魅力を発信してくれました。このように、佐藤さんは、さまざまな「魅力」を発信し探求するスペシャリストです。

長野大学キャンパスニュース

CAMPUS NEWS

vol.116

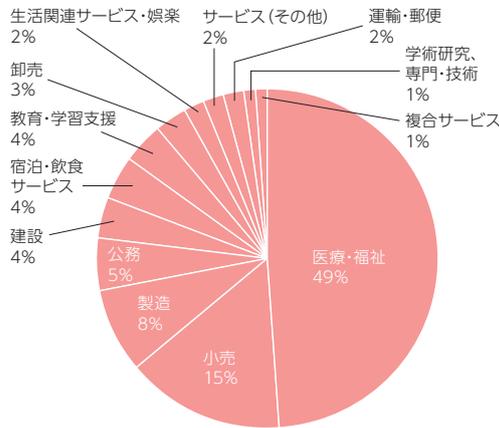
発行：2019年6月
長野大学アドミッションセンター運営委員会
〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1
TEL：0268-39-0020
mail:kouhou@nagano.ac.jp
ホームページ:www.nagano.ac.jp



就職決定状況

99.3% (2018年度卒業生)

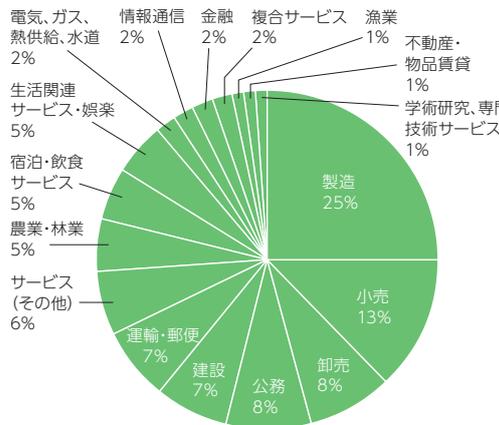
社会福祉学部



■ おもな就職先・進学先

社会福祉法人社会福祉協議会 (長野県、安曇野市、上田市、笛吹市、筑北村)
社会福祉法人中信社会福祉協会
社会福祉法人上田明照会
社会福祉法人大樹会
長野県厚生農業協同組合連合会 (佐久総合病院、北信総合病院)
長野県飯田養護学校
株式会社エラン
日精エー・エス・ビー機械株式会社
家庭裁判所調査官(補)
法務省(法務教官)
東京都特別区
長野市役所、東御市役所
上越教育大学大学院
ルーテル学院大学大学院 他

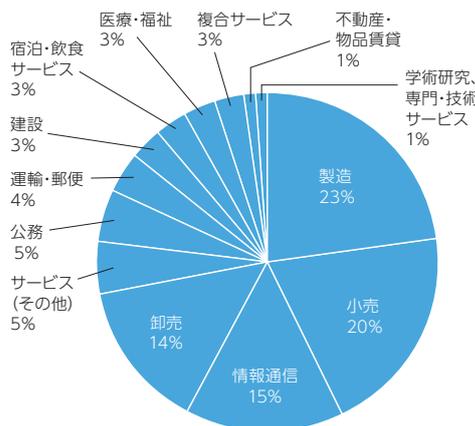
環境ツーリズム学部



■ おもな就職先・進学先

株式会社NTT東日本・関信越
シズンマシナリー株式会社
日穀製粉株式会社
松山株式会社
山洋電気テクノサービス株式会社
株式会社星野リゾート
日本郵便株式会社
長野八ヶ岳農業協同組合
高岡信用金庫
株式会社ローソン
北陸鉄道株式会社
株式会社信州東御市振興公社
上田市役所、千曲市役所、立科町役場
長野県警察、北海道警察
一橋大学大学院 他

企業情報学部



■ おもな就職先・進学先

株式会社NTTドコモ
株式会社城南製作所
株式会社都筑製作所
長野沖電気株式会社
日本食研ホールディングス株式会社
日本郵便株式会社
信州うえだ農業協同組合
リコージャパン株式会社
株式会社福井新聞社
株式会社そごう・西武
株式会社システナ
アネックスインフォメーション株式会社
松本市役所、中野市役所
長野県警察 他

★ このほかの就職情報についても長野大学のウェブサイトからご確認いただくことができます。